

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月1日(土) Bブロック 1回戦 鐘山スポーツセンター総合体育館 Dコート 第2試合

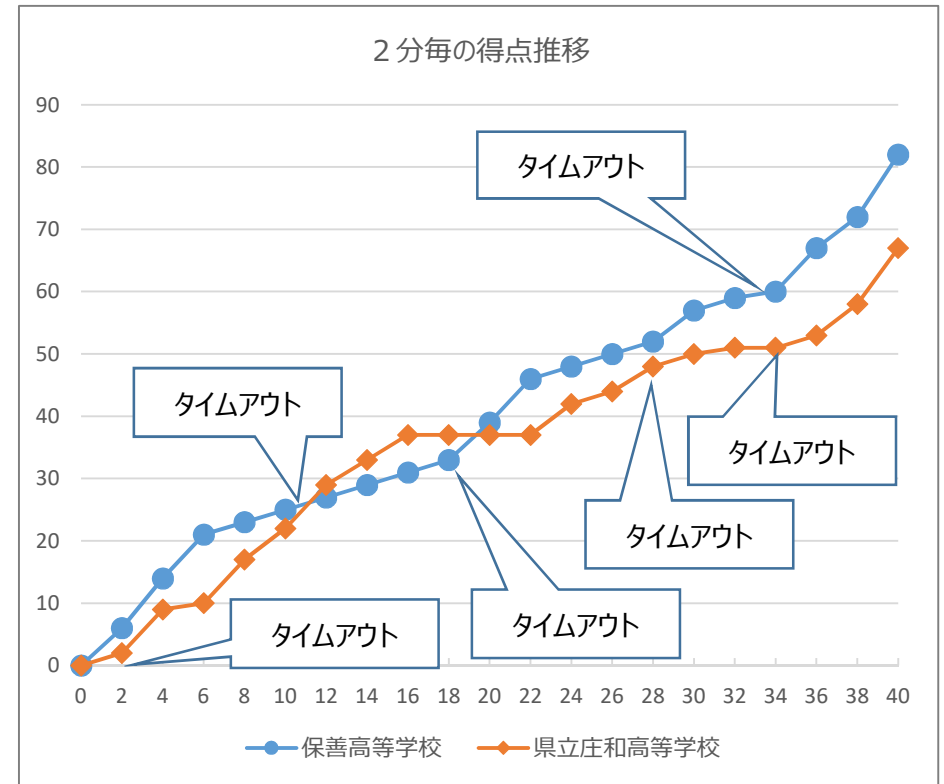
チームA		25	1st	22	67	チームB
保善高等学校 (東京都)	82	14	2nd	15		県立庄和高等学校 (埼玉県)
		18	3rd	13		
		25	4th	17		
		OT				

Aチーム： 保善高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	宇田川 篤志	23	0	7	11	22	1	2	1	0	9	9
2	*	5	安藤 秀輔	12	2	3	2	5	2	2	4	5	8	13
3	*	6	山本 颯太	15	0	0	7	11	1	2	3	3	2	5
4		7	浅倉 慎之介	9	1	5	2	7	2	3	1	0	3	3
5		8	霜越 大葵	6	0	1	2	5	2	2	1	0	0	0
6	*	9	龍 亮太	3	1	3	0	1	0	0	3	1	2	3
7		10	田村 涼介	0	0	0	0	3	0	0	1	1	1	2
8		11	前田 来飛	0	0	0	0	3	0	0	2	0	2	2
9		12	古田 航大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	*	13	清水田 龍	10	0	1	5	7	0	1	2	4	10	14
11		14	山崎 颯真	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1
12		15	渡会 真裕	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
13		16	鈴木 太賀	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	3
14		17	國井 栄助	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
15		18	深谷 翔	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM			真部 貴之									2	2	4
			合計	82	4	21	31	68	8	12	20	19	41	60

Bチーム： 県立庄和高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	徳 諭	4	0	1	2	2	0	0	0	5	6	11
2	*	5	岩浪 亮太郎	20	2	4	7	13	0	1	0	3	7	10
3	*	6	八巻 颯太	16	0	1	6	16	4	6	2	2	4	6
4		7	鍋田 麟											
5		8	成嶋 晃生											
6	*	9	恩田 学門	12	1	6	3	15	3	5	4	2	4	6
7		10	中島 恵悟	2	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0
8	*	11	岩田 稜平	11	3	10	1	3	0	0	1	1	4	5
9		12	庄司 晃平											
10		13	齋藤 純也	2	0	0	1	5	0	0	0	0	3	3
11		14	伊藤 可成											
12		15	大保 伊織											
13		16	鈴木 直弥											
14		17	井上 空											
15		22	荒井 元汰											
HC/TEAM			猪狩 貴弘											
			合計	67	6	22	21	57	7	12	8	13	28	41



戦評 記事者：植松 光和 (山梨県高体連)

1 Q: ティップオフから保善#5のレイアップシュートでゲームスタート。両チームハーフコートマンツーマンでの攻防の中、ブレイク、ゴール下、3Pと保善が流れを掴む。残り5分保善センター6番2回目のファール交代を機に、庄和が得点を重ね、残り2分23-15でTO後、庄和#5の3Pなどで追撃し25-22で終了。

2 Q: 開始早々、庄和#9のゴール下、#5の3P、#6が保善4番のファールを誘いバスカンで逆転に成功。そのまま勢いづく庄和に対し、たまたま保善#6をコートに戻すが残り2:30オフェンスファールで交代。しかし、ここから保善#4・5・7が落ち着いたドライブで点を重ね、39-37で再逆転し前半終了。

3 Q: 保善#6の2連続得点、#4のドライブで45-37と点差を離し、開始早々庄和タイムアウトを取るが、3分余り無得点は続く。残り5:34で保善#6がオフェンスファールで交代すると、ゴール下の激しいリバウンド争いから庄和が息を吹き返し、一時4点差まで詰め57-50で終了。

4 Q: 両チームとも膠着状態が続く。60-51残り5:52保善が先にタイムアウト。62-53で続けて庄和も作戦を練り直す。試合が動いたのは庄和#9のファールに対し保善#7がバスカン、FTを沈め67-53の14点差とする。その後、庄和#11の3Pなどで応戦するが、そのまま流れを離さない保善が82-67で勝利し2回戦へ駒を進めた。

主審	第1副審	第2副審
中島 弘幸 (千葉県)	平山 智章 (栃木県)	小沢 隆広 (山梨県)